

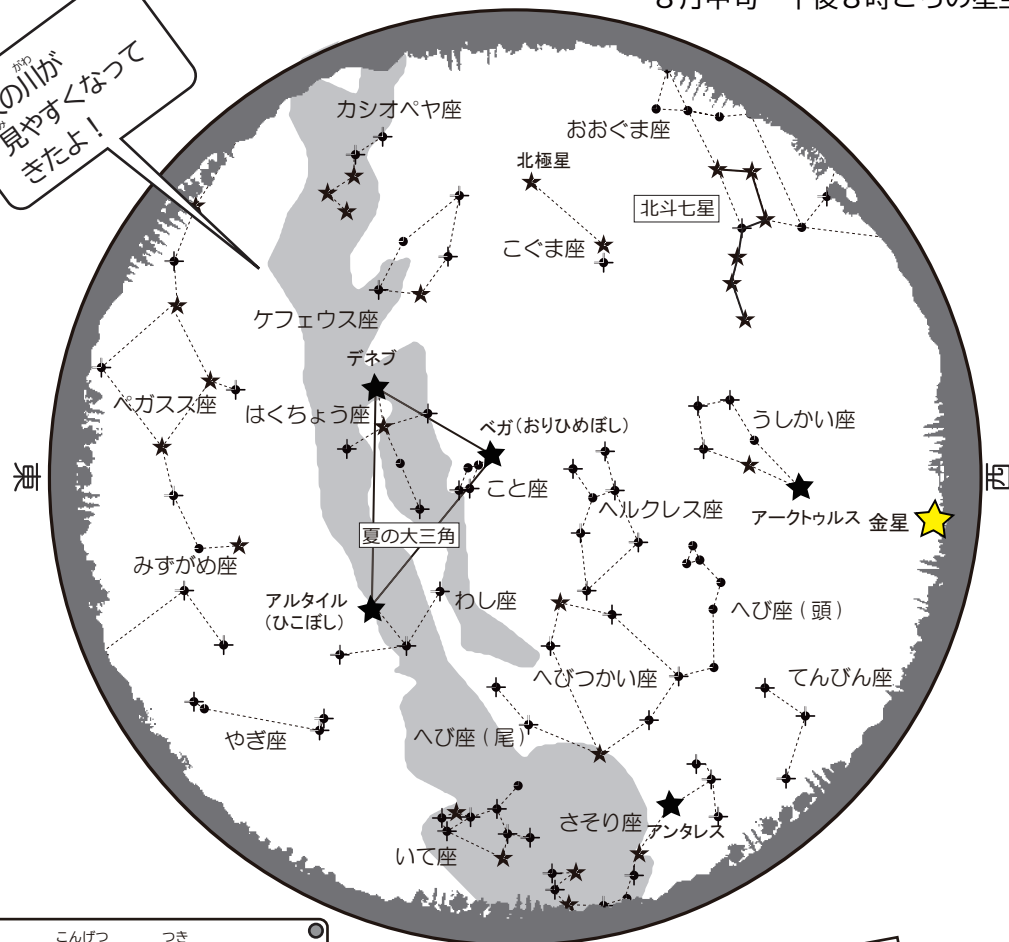
星空だより

2026年8月
No. 189
富山市科学博物館

8月中旬 午後8時ごろの星空



あま かわ
天の川が
見やすくなって
きたよ!



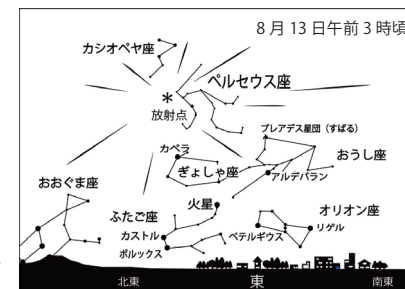
南

み ほしい
見たい方が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。



流れ星を見よう

毎年、流れ星が多く流れるペルセウス座流星群。今年は12日の夜中から13日の明け方にかけて最も多く見られます。また新月で一晩中月明かりの影響がない好条件です。街明かりの少ないところで、街灯などが目に入らないようにしながら、空全体を眺めてみましょう。夜は寒くなることもあるので、上着を用意して見てくださいね。



ペルセウス座流星群の流星はペルセウス座から四方八方に流れます。

黄道十二星座紹介 ☆いて座☆



いて座は、人と馬が合わさったような姿をしていて、ギリシャ神話ではケイローン（ケイローン）の姿といわれています。ケイローンは頭がよく、戦い方や病気の治し方などを多くの英雄たちに教えたことから、ケイローンの死を惜しんだゼウスにより、星座になりました。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

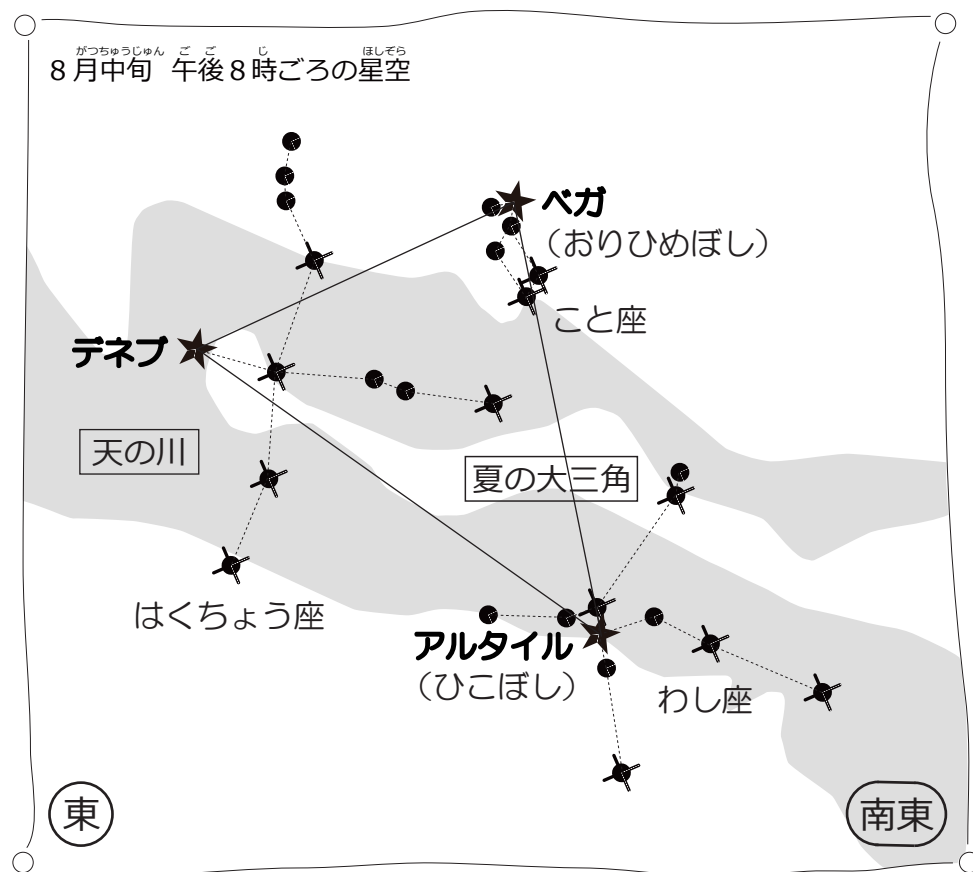


～今月のお月さま～

8月 6日	下弦	●
8月 13日	新月	●
8月 20日	上弦	●
8月 28日	満月	○

今月の さがしてみよう

夏の大三角



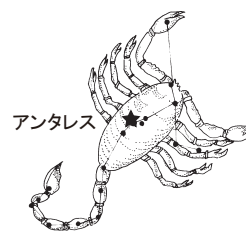
夏の大三角を探してみましょう。まず頭の真上にひとときわかるい星、こと座のベガ（おりひめぼし）を見つけます。ベガの南東にある明るい星がわし座のアルタイル（ひこぼし）です。この2つの星と東側にある明るい星、はくちょう座のデネブをつなぐと「夏の大三角」です。空の暗いところに行くと、三角形の中にぼんやり天の川を見ることができます。

今月のオススメ星座！



わし座

七夏の彦星であるアルタイルが目印です。アルタイルとは「飛ぶワシ」という意味で、アルタイルを挟んで二つの星が一直線に等間隔で並んでいる様子を飛んでいるワシに見たてたところからその名がつけました。



さそり座

赤い1等星アンタレスが目印です。釣り針のような形に星が並んでいるので、日本では「魚釣り星」や「鯛釣り星」とも呼ばれました。アンタレスは見た目には点にしか見えませんが、とても大きな星で直径は太陽の約720倍もあります。

天文コラム

伝統的七夕の日

七夕といえば7月7日ですが、これとは別に「伝統的七夕」と呼んでいる日があります。

伝統的七夕の日は、昔の暦での7月7日にあたる日です。今の暦に当てはめると毎年日にちが変わり、今年は8月19日になります。

今の暦での7月7日の頃はまだ梅雨が明けておらず、天気が悪いことも多いですが、伝統的七夕の頃は梅雨が明けていて晴れる日も多くなります。さらに、おりひめぼしとひこぼしが空の高いところに昇っているため、より七夕の星を見つけやすいでしょう。8月19日は午後10時前に月が沈みます。街灯のない暗い所に行けば、おりひめぼしとひこぼしの間に、天の川があるのが分かります。